

非常時に外国人を取り残さない！定型文を登録できる非常用多言語拡声装置

政府が2020年までの目標としている、約4,000万人の訪日外国人観光客を迎えるにあたって、公共交通機関では、自然災害や事故による鉄道の遅れのアナウンスや、いざという時の避難誘導など、日本語以外での対応が必要となってきます。しかし、日頃から外国語を話せる人員の配置や多言語のアナウンスを常備は難しい、また自動翻訳機能では正確に翻訳されているかどうかはその場で確認できない、という場合のために活躍が期待されるのがこの非常用多言語拡声装置です。



京成電鉄株式会社では、2016年12月8日に、この多言語拡声装置を、京成線全65駅(成田スカイアクセス4駅除く)に導入しました。

この拡声装置では、放送したいアナウンスを操作パネルにて、「非常放送」…「自然災害」「鉄道系」「ホテル系」などのカテゴリから選択し、「地震が発生しました。至急この場所から離れてください」、「台風の影響により列車の発着が遅れております。ご迷惑をおかけいたしますがしばらくお待ちください」、「お客様は2階以上に避難してください。エレベーターは使わないでください。階段をご使用ください」等、必要に応じたメッセージを選んで、繰り返し放送することができます。

また、来店のお礼や施設の案内・誘導、「1列に並んでお待ちください」、「最後尾はこちらです」、「スマートフォンや携帯電話の電源を切ってください」といった、通常時に使用できる標準メッセージも約600パターンが登録されており、別注で追加することもできます。

基本は日本語、英語、中国語、韓国語の4言語対応ですが、こちらも別途追加で20言語に対応可能です。現場で機械翻訳するものとは違い、使用したい言語・メッセージをあらかじめ検討・精査した上で登録(プリセット)ができ、収録音声は外国人観光客が正しく認識できるよう、全てネイティブによる翻訳およびアナウンスにて収録されています。また翻訳に通信を必要としないので、Wi-Fiや電話回線などの通信網が麻痺しても影響なく使用できます。通常のメガホンとしても使用できるので、普通のメガホンと両方を保管する必要もありません。



2014年7月に、内閣府・防災推進協議会によって、災害時に必要とされ安心安全と認められる「防災製品等推奨品証」に認定もされたこの拡声装置は、2016年12月20日(火)に開催された「2020年オリンピック・パラリンピック大会に向けた多言語対応協議会」(<http://www.2020games.metro.tokyo.jp/multilingual/index.html>) (事務局:東京都オリンピック・パラリンピック準備局)主催の「多言語対応・ICT化推進フォーラム」でも展示され、小池知事・丸川オリンピック・パラリンピック担当大臣も試用されました。



京成電鉄株式会社 ニュースリリース: http://www.keisei.co.jp/keisei/kouhou/news/161208_01.pdf

問い合わせ先

東京都オリンピック・パラリンピック準備局 総合調整部 連携推進課 事業推進担当
電話: 03-5388-2169(直通)